

土当時向くなく一寸した向變があつた事と組合員として
消費組合運動を理解せぬ為成績は不良であつた。勿論
組合自体としては完全に宣傳が行届かぬ点等も有つた。身
くは組合は營利本位の組合と誤解してゐた關係もある。
欠損は創立當時である為に余分の経費のかつたこと。仕
入方法がよろしきを得ない關係である。

組織変更及現下情勢

故土詔可月日 大正十四年五月廿九日
六月八日

創立総代会 総代は各工場に於て組合員二十名に對し一名の創合を以
て選出す

- 理事六名 青木源四郎 専務理事 川島史三 小泉七造
- 組合長 漆谷長治 木下幸次郎 松岡清太

監事 格七名 各工場一名選出(職板定数参照)
三 名

現在制用人員 七百六十八名(八月上旬現在)

現在総株数 七千三百三十八株

一月取費高 右萬五千三百三十元七十二錢(由七月中旬至八月中旬)

取費高各種費 壹百種共 貳萬五千余

現在資金總額 活期圓貳萬 貳萬五千余

格株八員數 壹千二百八十八人

現在從業員數 各四名

現在制用人員は少敷なる日々増減あり、ある。尚、
の取費高は、經營費の点に於ても最近變り、引續き無
の取費高は、經營費の点に於ても最近變り、引續き無

組合長 青木源四郎 専務理事 川島史三
三十三ノ四